

様式第6号(会派用)

政務活動実施報告書

平成31年 4月24日

村上市議会議員 様

会派名 市政クラブ

代表者氏名 川村 敏晴



当会は、下記のとおり政務活動を終了しましたので報告します。

	代表者 確認印		経 理 責任者 氏名印	小 杉 和 也	
用 務 名	先進地視察（観光ホテルの廃墟の現状と行政の対処・施策について）				
実 施 日 時	平成30年 7月11日（水）午前10時00分～午後 0時00分 平成30年 7月12日（木）午前10時00分～午後 0時00分				
用 務 先	新潟県弥彦村、栃木県日光市				
参 加 議 員 名	市政クラブ 川村 敏晴、小杉 和也 無会派 板垣 千代子				
全 体 参 加 者 数	3 名				
概 要 及 び 所 見	※記載欄が不足する場合は別葉に記載すること。 別紙のとおり。				
備 考					



市政クラブ会派視察報告書

昨年7月11・12日の2日間に、弥彦村と日光市鬼怒川温泉の観光拠点である観光ホテルの廃墟の現状と行政の対処・施策について視察して参りました。

初日は、弥彦村役場内にて観光課の方に、経緯についてお話を伺いました。

弥彦駅前の廃墟ホテルは昭和天皇もご宿泊された有名ホテルでしたが、経営の悪化後所有権が転々とし、廃墟と化し、弥彦村が対策として買い取る方向を打ち出し、所有者を探し出し、およそ三年後に完全買い取りが実現し、現在は弥彦駅前に広い駐車場と足湯を楽しめる施設が設置されていました。

そしてこの対応を契機に外にも弥彦温泉街の空施設を解体して観光客をもてなす「おもてなし広場」として地元業者数店が入った施設が建設されてにぎわっていました。

ただ弥彦山中腹にあった空工場をある団体が買収し、観光客とは違う人たちの出入りが多くなっていることを懸念していました。

次の日は日光市の鬼怒川温泉郷の廃墟ホテルの様子を直接見学した後、日光市役所にて観光部の方から現状についてのお話を伺いました。

鬼怒川の廃業ホテルに於いても、所有者の特定が難しく、分かったとしても、鬼怒川沿いの法面に建てられた高層ビルのホテルについては、土地を掘削する行為が法律で禁じられていて、改修や建て替えが困難な状態とのことでした。

そんな中行政としてそれ以上の荒廃を食い止める為、4軒のホテルを買収したり、緑地公園や足湯施設などの周辺整備等の対策を打ち出しており、立地の良い場所には有名なホテル経営会社が運営に乗り出てきたり、外国人客の増加が顕著になって

きているそうです。

当市に於いても瀬波温泉街の廃墟となったホテルが目につき始めています。そのような現状を放置しては、村上市の観光の目玉でもある瀬波温泉街の魅力が損なわれていきます。今後行政としても廃業施設の対策を更に真剣に検討すべきと痛感してまいりました。